

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和7年7月9日
タイトル	令和7年度ひろしま水土里ネット女性の会総会・研修会へ参加して
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和7年7月2日（水）、広島県三次市の三次ワイナリー文化交流館研修室において令和7年度ひろしま水土里ネット女性の会総会並びに研修会が開催され、広島県内の水土里ネット女性の会関係者が参加しました。

ひろしま水土里ネット女性の会は、広島県内の水土里ネットの運営や活動に携わる女性や農業農村整備に関わる全ての人々が性別年齢を問わず自らの能力を発揮し、協力し合い、誰もが活躍できる環境作りに取り組むことを目的として設立されました。

通常総会では、令和6年度活動報告と令和7年度活動計画が全員賛成で承認され、新たに会員になられた土地改良区女性理事が紹介されました。

開会にあたり、猪垣ふみよ会長が令和7年度男女共同参画週間キャッチフレーズ“誰でも、どこでも、自分らしく”を用いられ「土地改良に携わる女性や若い世代の方が自分らしく活躍できることを願っています。」と挨拶で述べられたことが印象に残りました。

研修会では、中国四国農政局農村振興部 山田美紀部長が「情報提供」として、何かと話題の「お米」について講演されました。戦後の減反政策や作況指数について詳しく教えていただき、興味深くお聞きしました。



会員の土地改良区女性理事が小さなお子さんと一緒に参加されました。農業と子育てを両立し、土地改良区の理事として活躍される姿はとても頼もしいです。子どもさんがいることで、みんなが自然と笑顔になりました。

現地研修は、農事組合法人三次ピオーネ生産組合で「三次ピオーネ生産団地の概要」についてお聞きしました。

三次市は広島県の北部に位置する内陸盆地で霧の里で知られています。霧を発生させる昼夜の温度差がぶどうの栽培に適しており、糖度が高く果実も大きい最高級のぶどう「ピオーネ」を主に栽培されています。

生産組合設立から50年の間、風害や雪害を乗り越えられ、栽培、出荷、販路開拓と多くの女性も携わり共に歩んでこられました。

農事組合法人三次ピオーネ生産組合は昭和49年に設立され、組合員数20名、約36ヘクタールで520tのぶどうを栽培。

見学したハウスでは2,500㎡に約1万房のピオーネを栽培されており、収穫目のたわわに実ったピオーネの芳醇な香りが広がっていました。



水土里ネット福山は21世紀土地改良区創造運動の一環として「水土里レポート」を投稿しております。